

＼景観づくりの基準を考えよう／

第2回 ニシカタ地区 景観勉強会

通りと住宅地のまちなみを考える

開催日時：2025年12月16日（火）19:00～20:30
会場：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス 一般教育棟 302教室

第2回のゴール（目標）

- 沿道のまちなみをつくる建物の要素について知ること。
- 景観づくりにむけた建物の基準内容を具体的に考えてみること。
- みんなができるルールを話し合い、建物の基準内容のグループ案をまとめる。
- 今回考えていただいた案をもとに、基準内容の詳細を事務局でとりまとめ、次回の勉強会に活用する。

プログラム

1. 開会のあいさつと本日のプログラム案内……………(1分)
2. 第1回のふりかえり……………(10分)
3. まちなみをつくる建物の要素と基準……………(5分)
4. グループワーク
★ワーク1★ アダニガービラ沿いの基準を考えてみよう！…(40分)
★ワーク2★ 生活道路沿いの基準を考えてみよう！…(20分)
5. まとめ発表・総括……………(15分)
6. アンケート案内・閉会

第2回 景観勉強会の流れ

第1回のふりかえり

① ワークで出た意見の整理

地区的景観の特徴	課題
スージグワー、昔ながらの道	交通の安全性
石垣、石積み	赤瓦
緑、植栽	石垣の減少
井戸、樋川などの歴史資源	アパート・マンションの増加
	樋川・井戸など歴史資源の案内板の不足

歴史的景観、スージグワー景観

② “気になったこと”への補足説明

- ▶ 道路の美装化について
- ▶ 市の助成制度について
- ▶ 石積みの取扱いについて

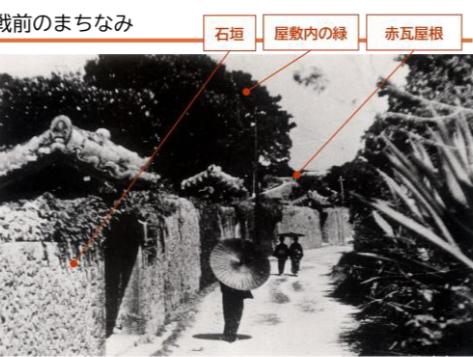
③ アンケート結果

- ▶ 約9割の方が景観づくりの必要性を感じている
- ▶ 沿道の建物を含め景観づくりに力を入れる道路：アダニガービラ／赤平当蔵線／大中1号線 など
- ▶ 基準内容を考える必要がある項目：屋根材（赤瓦）／囲障素材／囲障の長さ／緑化 など



まちなみをつくる 建物の要素と基準内容

- ▶ まちなみをつくる建物の要素は主に「屋根（赤瓦）」「囲障（石垣）」「敷地の縁」



- ▶ まちなみのイメージ①～③について、基準内容とつくれるまちなみの違いを写真等で紹介
- ▶ ニシカタ地区の基準内容を考える参考にしてください

① 赤瓦による歴史的なまちなみ

- ▶ 赤瓦の基準はどうする？



② 石垣などの囲いが連なるまちなみ

- ▶ 囲障の素材、開口部の幅は？



③ ゆとりと緑のうるおいがあるまちなみ

- ▶ 道路境界からの建物の壁面後退は？
- ▶ 緑化は？



★ワーク1★ アダニガービラ 沿いの基準を考えてみよう！

～景観づくりに力を入れる主な道路での
建物のルールを考える～

10分

ワークシートを
使って
各自で基準を選んでみよう！



20分

簡単に自己紹介
(ゆかりのある地域とお名前)

+
選んだ選択肢と
その理由を発表

*選んだ基準がちがったらメンバー同士で話し合おう

10分

グループ案をまとめよう！

赤瓦は～～
囲障は～～
開口の幅は～～

メンバーで出し合った内容を
整理する

★ワーク2★ 生活道路沿 いの基準を考えてみよう！

～身近な道路での建物のルール
を考える～

5分

ワークシートを使って
各自で基準を選んでみよう！



10分

選んだ選択肢と
その理由を発表

*選んだ基準がちがったら
メンバー同士で話し合おう

5分

グループ案を
まとめよう！

まとめ 発表

アダニガービラと
生活道路の基準内
容について
グループでまとめ
た案を
3程度で発表

各グループ案の
総括

